

ユズリハだより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp **74号**

2014. 7. 20 (No.74)
東京公害患者と家族の会
文京区小石川5-34-12
アビタマツモト2F
TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377
ぜん息110番
03-5840-8446



一通一通に思いが込められたハガキの山です。

7月10日 東京都との話し合い 6回目

7月10日(木) 10時30分
から都庁内会議室で、「ぜん息医療費助成制度」の見直しについて、東京都との話し合いが行われました。

冒頭に患者や都民のみなさんから寄せられた舛添都知事宛てのハガキ(3,428通)と25医師会・4薬剤師会・46病院・医院・19

薬局からの都知事宛て要請書を提出しました。

話し合いの大きな柱は

①知事本局が解体されるもとの「東京都医療費助成制度に関する連絡会」の業務を引き継ぎ、この窓口となるのかの確認、②3分の1の助成とする中身の具体的な提示、③来年3月末で新規認定を打ち切るとしているが、現在認定されている18歳未満の患者の内、3月までに18歳に到達せず申請できない者については打ち切るとの問題について、意見交換を行い、問題点の話し合いを行いました。

①について

7月14日に企画制作局が発足し、福祉保険局企画計画課が引き継ぐ。担当者は

中川企画担当課長。(写真)「引き継ぐに当たり、調整、経過も十分に引き継ぎ、背景も含めて引き継ぎ、調整にあたりたい。」



②について

助成は「3分の1」を考へ、重症者に配慮して上限を決めて助成する。上限は現在調整中であり、答えられない。(上限を超えた分を助成する。上限に満たない場合は全て患者負担)

多くの患者が対象から外れることになる!

助成がどうなるのか、一

ぜんそく医療費制度見直し 患者切り捨て許されない 東京公害患者会が都に要請

記者会見を翌日の新聞記事で

③について 従来からある18歳までの制度と「東京大気汚染公害訴訟」の和解で出来た現行制度は区別して考える方針との回答です。2008年から全年齢を対象にした一つの制度として運営してきたはず! 継続して追及します。

予定とお知らせ 7月

- 26(土) 三役会議10:00~
- 27(日) 13:00~7/28(月) 12:00
全国患者会幹事会大阪西淀川患者会
- 29(火) 市民フォーラム実行委員会19:00~21

8月

- 1(金) 東京民医連協議 10:00~
- 3(日) 日本母親大会分科会「公害のないまちづくり 神奈川学園10:00~15:00 4名、江東区現地調査 9:00出発
- 4(月) 弁護士会議 10:00~
全国患者会事務局 16:00~

- 8(水) 東京あおぞら連絡会常任理事会10:00~
- 10(日) 故繁野義雄さん墓参 日暮里駅北口10:00集合第6回幹事会 13:30~
- 18(月) 都民アピール行動池袋駅12:00~13:00
- 19(火) 健康づくり委員会 13:30~
弁護士会議18:00~
- 21(木) 東京あおぞら連絡会拡大理事会・地域活動交流会18:30~ 風の会 13:30~
- 22(金) 事務局会議 10:00~
- 26(火) 首都圏救済懇 18:30~
- 28(木) 総行動40回P.T 13:30~
- 29(金) 都民アピール行動有楽町マリオン前12:00~13:00

9月

- 2(火) 弁護士会議10:00~
- 5(金) 総行動事務局会議13:30~
- 7(日) 第7回幹事会 13:00~

ハガキ署名集めよう

都知事宛てのハガキは、患者だけではなく都民の多くの方に書いていただいています。会員のみなさんの家族・知人・ご近所の方、どなたでも書いてください。ハガキを同封いたしますので、どうかご協力をお願いします。

PM2.5 (微小粒子状物質) シンポジウム 深刻なPM2.5汚染の発生源は私たちの身近に

2014年 9月15日(祝) 13:30~17:00
会場 日本教育会館(神保町) 第2会議室



パネリスト

「深刻なPM2.5汚染とその発生源」 伊瀬洋昭・都立産業技術研究センター

(大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了。東京都公害研究所、アイソトープ総合研究所、(地独)東京都立産業技術研究センターフェロー。技術士(総合監理部門、環境部門) 環境アセスメント学会評議員。専門は微小粒子計測技術、環境アセスメント)

「万病のもと! PM2.5の健康影響」 嵯峨井勝・つくば健康生活研究所 代表

(もと国立公害研究所所属。マウスへのDEP暴露実験などで、ディーゼル排ガスがぜん息等を引き起こすメカニズムを解明。大気汚染学会学術賞受賞。著書多数)

「PM2.5対策と被害救済」 西村隆雄 東京大気汚染公害訴訟弁護団

(川崎公害訴訟・東京大気汚染訴訟などで弁護団の中心的役割を果たす。八王子市在住。現在は大気汚染問題の他、アスベスト問題にも取り組む)



暑中お見舞い 申し上げます

療費助成制度」について初めて知ったという患者さんからの問い合わせが、毎日のようにあります。また「ぜん息医療費助成制度」を知らない患者が多くいるということ

患者会には「ぜん息医療費助成制度」について初めて知ったという患者さんからの問い合わせが、毎日のようにあります。また「ぜん息医療費助成制度」を知らない患者が多くいるということ

制度の継続を求める要請書も多くの医師会・薬剤師会から届き7月10日にはその一部を東京都に提出しました。その他各団体や地元都議にも要請

制度の継続を求める要請書も多くの医師会・薬剤師会から届き7月10日にはその一部を東京都に提出しました。その他各団体や地元都議にも要請

ぜん息新情報

気管支ぜんそくの新しい検査法 呼気NO濃度測定

これまでの呼吸機能検査より楽に簡単にできる、ぜん息に特徴的な気道炎症の状態を測定できる検査法があるそうです。

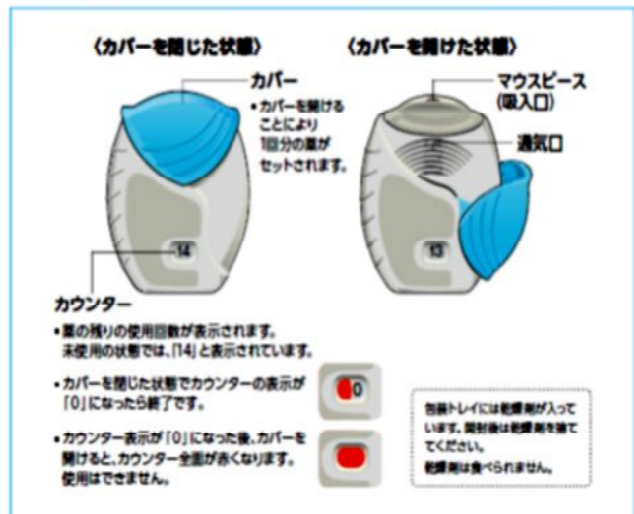
1990年代に海外で、ぜんそく患者は健康な人に比べ、呼気中のNO濃度が上昇することが報告され、気道炎症の指標としてNOが注目されるようになった。

そこで呼気中のNO（一酸化窒素）濃度を測定します。この物質は気管で好酸球性炎症が起きた場合に、気道の上皮細胞からたくさん出てくることがわかり、好酸球性気道炎症が強ければ高い濃度となります。治療で良くなるとそれが下がってくるのが証明され、気道の炎症が数値で測定できるようになりました。これまで高価な機会しか測定できませんでしたが、携帯型の機会が開発され、日本でも2013年から保健医療で測定できるようになりました。もっともっと普及してほしいですね。

新薬情報 レルベア

このお薬は、長時間にわたり気管支を広げる成分とステロイド性の炎症を抑える成分が含まれた吸入剤です。吸入後すぐに効果はあらわれませんが、長時間にわたり気管支を拡げ、更に炎症を抑えることによって呼吸を楽にします。（この薬を使えない人もいます医師に相談を！ぜん息発作を鎮めるものではなく、発作の治療(予防)を目的に使用します。）

レルベア エリプタの吸入方法	レルベア100	2835.1円
■吸入器の外観	レルベア200	3164.3円



今！みんなで取り組んでいます

都内全域の医師会・薬剤師会に協力を要請！

来年（平成27年）の3月末で「ぜん息医療費助成制度」の新規認定受付を終了すると東京都は表明しています。

そこで、東京都が新規認定受付を終了する前に、一人でも多くの患者さんに申請してもらうために医師会や薬剤師会に協力していただき、病院や診療所・調剤薬局に通う患者の方たちに情勢を知ってもらおうポスターの掲示をお願いしています。合わせてチラシとハガキの手渡しもお願ひしています。医師会・薬剤師会ともに東京都が表明している「制度の見直し」を憂慮していることがわかりました。



患者のみなさんが次々と今の思いを訴えました。が、足早に通る人に伝わらない。患者のみなさんが次々と今の思いを訴えました。が、足早に通る人に伝わらない。患者のみなさんが次々と今の思いを訴えました。が、足早に通る人に伝わらない。

7月10日東京都との話し合い終了後、新宿西口前広場に移動して、私たちの思いを通行人に訴えました。



限られた時間の中で、一人でも多くの都民に理解を得られるために頑張りたいと思います。9月には「条例改定（見直し）」が都議会で計られますが、できる限りのことをやりつくしたいというのが患者会のみなさんの気持ちです。



新宿西口前宣伝ハガキ署名集め

街頭宣伝これからの予定

- ① 8月18日（月）池袋駅 12:00～13:00
- ② 8月29日（金）有楽町マリオン 12:00～13:00

7月26日三役会議・8月10日幹事会で詳細を確認して、支部責任者にお知らせします。